

長崎の教育・学校現場の今を「ととってmotto!」と「NR」で定期的にお届けします。魅力ある学校や教育に関する取り組み、熱心に子どもたちの育成に励む教員たちを紹介します。

公式 YouTube



公式 YouTube チャンネルを開設しました! ぜひチェックをお願いします!

公式 Instagram



「学校のネタ帳」をテーマに長崎の学校の話をお届けしています



2024

みんなで成功させよう!
北部九州総体 2024

全国高等学校総合体育大会(通称:インターハイ)は全国各地の予選を勝ち抜いた選手が集う高校スポーツ最大の祭典です。2024年度は7月21日~8月20日、北部九州ブロック(長崎、福岡、佐賀、大分)の4県を主会場に30競技が行われます。

大会を支える「高校生活動」

競技会場となる県内5地区の生徒30人でつくる「県高校生活動推進委員会」を中心に、高校生が大会を支え、来県者を歓迎して長崎の魅力を伝えるための準備を進めています。



北海道インターハイ視察

推進委員5人が地元高校生との交流を通して「一番のおもてなしは笑顔」と学びました。



試験栽培

本番の競技会場を草花で彩るため、県内23校の生徒たちが挑戦しました。

11月5日(日)開催 カウントダウンイベント 259Days to Go

~インターハイで繋がる笑顔の輪~

イベント開催日は競技が始まる来年7月21日まで、あと259日でした。みんなで気持ちを一つにしたこの日から、推進委員会のInstagramでカウントダウンを始めます。



高校生活を先導する「県高校生活動推進委員会」のメンバーが県庁に集まり、県高体連加盟校の「学校推進委員会」の生徒たちとともに、大会成功に向けて思いを一つにしました。イベントでは、これまでの活動紹介や、参加章・競技種目別ポスターの図案に選ばれた高校生の表彰がありました。イベント後は長崎駅に移動して、大会のPRも行いました。



長崎駅で大会をPR

各種情報やカウントダウンはこちらから



私たち県高校生活動推進委員は、高校生が熱く最大限の力を発揮し、最高に輝ける大会を目指して準備を進めていきます。2024年度は学校推進委員の皆さんと一緒に、全国の高校生アスリートを応援し、暑い夏にしていきたいです。

県生徒委員長 小崎順琉さん(長崎南1年)

Teacher's File

長崎の学校で生き生きと働く先生たちにスポットを当てます

今回紹介するのは
松浦市立志佐中学校の

奥野猶興先生
美術を通して感性を高める



奥野先生ってどんな先生?

担当教科は美術。大学では油絵を専攻。教務主任として学校行事の調整などを行い、放課後は顧問を務める男子ソフトテニス部を指導しています。

先生のリフレッシュ方法

家族みんなでランニング。週に3、4日のペースで6kmほど走っています。自然を感じながら走ることと気持ちを切り替えています。

教員を目指したきっかけは

子どもの頃から絵を描くことが好きでした。描いたものを褒められた喜びが幸せな記憶として残っていて、高校3年の時に美術の道へ進もうと決意。受験に必要なデッサンの技を磨くため、毎日、放課後に美術の先生が熱心に付き合ってくれました。そんな恩師の姿に感銘を受けたからです。

この仕事に就いて良かったと思うとき

行事や部活などを通して、生徒と一緒に楽しさや感動を共有する瞬間は何物にも代え難く、自分も青春時代に戻ったような感覚になります。体育祭や文化祭で生徒のために制作した黒板アートに喜んでいる姿を見たり、教え子が教員になったという話を聞いたりすると喜びが込み上げます。

美術を通して伝えたいこと

美術の授業は技術や成果物に目がいきがちですが、その制作過程において「何を考え、どう感じたのか」といった心の動きに気付くことが大切だと思います。生徒が20人いたら、20通りの考え方や個性があって当たり前。美術を通してもの見方を広げる力が育めるよう、心がけています。